

第3回中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会 行政視察

日時	令和6年10月16日(水) 13時00分~14時30分	
場所	長野県佐久市佐久平クリーンセンター	
出席者	委員	八鍬委員、柴原委員、長谷川委員、保母委員、安藤委員、成瀬委員、加藤委員、別府委員、今井委員、大塩委員
	オブザーバー	吉村氏、野原氏
	事務局	中津川市 丹羽部長、吉村課長、長瀬所長 恵那市 磯村課長、佐藤課長補佐、平林所長 中津川・恵那広域行政推進協議会 山田事務局長、林課長補佐、西尾係長、阿部係長 株式会社エックス都市研究所 松島主任研究員、長友研究員、メルリーニ研究員
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. あいさつ 3. 動画視聴 4. 施設見学 5. 質疑応答 6. 閉会 	

1. 開会

2. あいさつ

(佐久市・北佐久郡環境施設組合 事務局長)

佐久市・北佐久郡環境施設組合は、佐久市と軽井沢町、立科町、御代田町の1市3町により平成26年10月1日に設立されました。

このクリーンセンターは、佐久市と元々軽井沢町でごみ処理を行っていたWクリーンセンター、また現佐久市の旧望月町、旧浅科村、そして立科町と、現在東御市となっております旧北御牧村のごみ処理を行っていたVクリーンセンターの後継施設としての位置付けで建設されております。

佐久平クリーンセンター自体、着工は平成28年5月、令和2年11月に竣工、12月から本格稼働をしているところでございます。現在、組織市町の他、隣接する南佐久郡の4町村、佐久穂町、小海町、南相木村、北相木村を合わせまして、市町村の可燃ごみの焼却処理をしているところでございます。ごみ処理の業務につきましては、運営事業者である株式会社さくEサービスで行っており、現在のところは計画通りの稼働を行っているところでございます。令和5年度のごみの搬入量は30,772tで、月平均約2,559tのご

みを焼却処理している状況でございます。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

それでは続きまして、中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会から、ご挨拶をお願いいたします。

(委員長)

こんにちは。本日は当委員会の視察対応していただき、本当にありがとうございます。

この施設は令和2年に竣工と聞いております。この新しい施設を、是非ここで委員の皆さんで見て、その知見を持ち帰りまして、検討委員会での検討を深めていただければと考えております。今日はどうぞよろしくをお願いいたします。

3. 動画視聴

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

ありがとうございました。それでは、動画視聴となります。

一つ目は建設工事の記録となっております。定点の観測カメラを設置しておりまして、着工から完成までを動画で写しております。建設工事の参考としていただければと思います。

(DVD 視聴)

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

2つ目は「未来に向けての取組」ということで、当組合の施設見学に来られた社会人や小学生にも視聴してもらっているものでございます。ごみの減量化の啓発といった地域貢献につなげていく教材としてご覧ください。

(DVD 視聴)

4. 施設見学

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

続きまして施設見学となります。

(施設見学)



5. 質疑応答

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

お疲れ様でした。それでは質疑応答の時間になります。

まず、事前に質問があったものについてご回答したいと思いますので、「事前質問書⇒回答書」の資料を見ながら聞いていただきたいと思います。

まず質問「1. 佐久平クリーンセンターについて」ということで、「1. 施設の設置にあたり、他の地域では、地域貢献ということが多く協議されていますが、佐久平クリーンセンターの地域貢献内容を教えてください。また、どのように決定されたのでしょうか。」という質問に対してですが、まずどのように決定されたかですが、佐久平クリーンセンターは、既存施設の中込中央区にありました昭和59年稼働の「Wクリーンセンター」と、望月地区にありました昭和56年稼働の「V清掃センター」の後継施設ということで整備されました。緑色の長野県の地図をご覧ください。赤線で囲んだ青い箇所。佐久市・軽井沢町・立科町・御代田町の可燃ごみの共同処理に加えまして、地域内融和を進めていくために、赤点線下にあります南佐久郡の佐久穂町・小海町・北相木村・南相木村のごみ処理も担う施設でございます。1市5町2村の小学4年生の社会科見学や、いきいきサロンや老人大学等、地域の団体の施設見学を通して環境保全や循環型社会形成への理解、ごみの軽量化につなげるとともに、余剰電力の売電などの地域貢献に努めております。

次に、「2. 佐久平クリーンセンターを設置した場所について、どのような経緯で、どのような検討により選定されたのでしょうか」という質問ですが、地図をめくって、「資料1：新ごみ焼却施設建設候補地選定に係る調査検討結果 報告書〔概要版〕」をご覧ください。上から6行目になりますが、佐久市では建設候補地を公募により募集することとし、その結果、3地区から応募申請がありました。

応募された候補地の中から適性を総合的に調査検討するために、皆様と同様の団体ですが「新ごみ焼却施設建設候補地選定委員会」を平成22年6月に設立いたしました。

資料1「1. 建設候補地の公募」ですが、①として概ね1.6ha程度の用地面積と、②として地権者全員の賛同が得られているか、または見込みがあるかの二点で、応募申請者は候補地の区長としました。

資料1「2. 建設候補地の公募結果」ですが、公募の結果、佐久市A地区、B地区、C地区の3地区から応募申請がありました。

資料1「3. 建設候補地の選定手順」ですが、資料裏面をご覧ください。上から二つ目の、候補地に赴いて現地調査をしたり、三つ目の応募申請者、区へのヒアリングや意見交換、申請に至った経緯を把握、四つ目の候補地の資格判定を実施しました。これはその下の資料1「4. 建設候補地の資格判定」の「(1)資格判定項目・判定基準」をどうするのかを議論して、「土地利用」、「環境保全」、「災害防止」、「合意形成」の観点から、表の上の「有効敷地面積の確保」から一番下の「地権者への理解」までの10項目の「資格判定項目」と、「資格判定基準」に基づいて、建設候補地として条件を満たしているのかを判定しました。

その結果、A区とB地区は適している、基準を満たしていなかったC地区は適してい

ないとして、この後の適正評価の対象からは除外いたしました。資料1のこの後の内容につきましては、次の選定委員会の質問と重複する部分もありますので、次での回答とさせていただきます。

続いて「3. 佐久平クリーンセンターの施設の特徴を教えてください」ということで、資料2をご覧ください。

こちらは今まで中津川・恵那広域行政推進協議会の皆様がこれまでに視察に行かれた視察先を一覧にしたものです。バイオガス燃料発電や世界初の膜素材を利用した次世代煙突など、最新の処理方式と比較しますと、当組合の特徴は、処理能力は55t/日2炉の110t。ストーカー式焼却炉で1日1,980kW、約5,900世帯分の発電施設を有しております。

施設の特徴はこの後の質問にも関連してきますが、区から温浴施設の要望があり、掘削費用を負担しております。また収集車運搬道路を整備いたしました。焼却灰は県外4カ所のリサイクル施設で全てを石や砂など道路舗装の路盤材等に再資源化しております。詳しくは1階及び施設北側に商品を展示しておりますので、お帰りの際にご覧ください。

余剰電力は民間の電力会社に売電しております。また軽井沢町にある中間処理施設への電力として供給しております。

続いて質問「2）佐久市新ごみ焼却施設建設候補地選定委員会について」ということで、「1. 委員の構成を教えてください。」とあります。

土木、建築、廃棄物、自然保護の各分野を専門とする識者の他、各種団体の推薦者、市民からの公募委員の計10名より構成されております。うち公募は2名でございます。

続いて「2. どのような内容を選定委員会で協議されたのでしょうか」という質問ですが、これも先ほどの続きとなります。資料1の4においてA地区、B地区が適していると判断された後、「5. 建設候補地の適正評価」について、「土地利用」、「環境保全」、「防災性」、「経済性」、「合意形成」について、「評価項目」の「地質」から「他市町との協議」までの19項目についての点数評価、それと、点数では評価しにくい地元の理解度協力度については記述評価により判定を行った結果、「6. 適正評価結果」のとおり、A地区が第1位順位、B地区が第2位順位という結果となりました。

そして平成22年6月から11月までの約5ヶ月間、計10回にわたり委員会を開催しました。幅広い角度から調査検討を重ね、「新ごみ焼却施設建設候補地選定に係る調査検討結果報告書」としてまとめて審議は終了となりました。11月9日には委員長から市長に報告され、委員会の任務は終了。市ではこの調査結果を尊重して建設予定地を決定しました。

続いて「3. 候補地公募方法の選択は、選定委員会で決定されましたか。」ですが、これは先程も説明しましたが、選定委員会では決定しておりません。公募方法については佐久市で決定しました。①用地面積約1.6haと②地権者全員の賛同、の2点でございます。

続いて「4. 地域振興策の検討について、どのように検討され、どのように決定されたのでしょうか。」ですが、A地区では余熱利用による地域振興案を掲げ、明確な目的、温

浴施設の整備がありました。B地区は内容について地区全体の中で固まっていないという温度差がありました。

佐久平クリーンセンターは、スキー場の東に位置しております。山を挟んで、スマートインターから直接アクセスできる公園の他、温泉施設があります。当初はこのごみ処理施設の余熱による温水を配管で送る計画を検討していたようですが、掘削による計画に変更をし、掘削費用の一部を組合で負担するようになりました。また中央に小学校がありますが、地元区より小学校前を収集運搬車が頻繁に通らないよう、交通安全対策を要望され、その右側の市道南北線を部分拡張いたしました。そのため佐久市、立科町、南佐久の収集運搬車は、桃色のルートを通してクリーンセンターの方に搬入しております。また地元地区協力を毎年交付しております。

事前の質問の回答については以上となります。もしその他質問があるようでしたら、挙手の方お願いいたします。

(委員)

本日は貴重な視察の機会をいただきありがとうございました。

私共の住んでいる中津川市・恵那市も非常に広域的な市で、多分南から北まで行けば車で2時間強ぐらいかかるイメージだと思います。

このマップを見させていただく限りは同じような広さだと思いますが、佐久平クリーンセンターは大体中央部に位置していると見ていますが、南側の小海町や南相木村までのアクセスや、ごみを収集する距離感や時間的なものがわかれば教えて下さい。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

佐久穂町は佐久町と八千穂村が合併した町で、八千穂にインターができ、中部横断自動車道の無料区間や高速を通過していけば約1時間弱でこのクリーンセンターの方に着く距離感になります。

(委員)

素晴らしい施設を見させていただきまして、ありがとうございました。

こちらの施設ができた後に「プラスチック資源循環促進法」が施行されていますが、そちらの対応については検討されていますでしょうか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

構成市町村の方から特にそういった意見も無いため、今のところ検討はしていない状況です。

(委員)

地権者全員の賛同が得られているのが条件ということですが、地権者及び地域、市民の方たちはウェルカムといった状況だったのでしょうか。ごみ処理施設には迷惑施設という意識が少しはあるのではないかと思います。そうでもなかったのでしょうか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

地権者全員の同意という形で謳ってあるのは、これよりも前に1か所、佐久市で選定した場所があったのですが、そこがうまくいかなかったことで公募に変わったということがございます。公募にあたり、A地区については隣がすぐ御代田町ということで、当然御代田町の方にも話をしつつ、同意を得ました。書面で皆同意しますという形ではないと思いますが、一応協力体制はできているという上での同意という形で進めてきたという状況です。

(委員)

公募の前は、市の方で一方的にここに決めたということですか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

中部横断自動車道の沿線のインターチェンジができるところに、農業の拠点整備も併せて、ビニールハウスで余熱を利用するという形までを含めた計画でしたが、地元の強い反対があって、公募に切り替えたという形です。

(委員)

1.6haという用地面積は、焼却施設と最終処分場をプラスするというのが普通の考え方だと思いますが、焼却施設のみに踏み切ったという考え方、すなわち最終処分場の分は圏域外へ出して処分するという考え方に踏み切ったのはどの時点なのか、誰がどのように踏み切ったのかということについてお分かりになりますか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

最終処分場としては、この近隣のT地区というところで埋立処分場があるのですが、容量が一杯になってきています。先程高速通ってきたところの脇の辺に民間の処分場もあるのですが、経過としましては、処分場で処分という選択肢もあったと思いますが、後々、焼却灰は全て砂や石にリサイクルするという方針が出てきて、最終処分場は作らないという形では落ち着いているという形です。

(委員)

温浴施設を作られていますが、温浴施設については、最初の掘削費1億円のみで、後のランニング経費など、今は全く見てないということでしょうか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

元々余熱を利用した温浴施設ということで手を挙げてもらったのですが、山の反対側まで持っていくのと温泉を掘るのとで比較した結果、温泉の方に切り替わったのですが、建物を建てる段階では佐久市の方でもかなり費用は見ています。

あとは指定管理しているスキー場のご好意により、地元住民の方は半額など、そういうことは協力いただいています。

(委員)

臭いの苦情や煙の苦情といったものは、今のところほとんどないということでよろしいですか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

今のところ苦情はありません。また地元への説明ということで、A地区には4月と来月の11月に施設の運営状況もしっかりと説明を行っています。

Y地区についても来月11月開催予定ですので、その場で受けた意見についてはその場で回答するようにしていますので、臭いや苦情というのはありません。

(委員)

本日はありがとうございます。

公募ということで3か所手が挙がってきたという話ですが、基本的には区長さんにまとめていただいたということでしょうか。相当大変な作業だと思うのですが。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

基本的には区長さんで、A地区の場合に限っては、X山対策協議会という協議会があり、元々山向こうは桃団地で、桃源郷と呼ばれる程、広くやっていたのですが、そこを高速、パーキングエリア、スキー場として土地を提供したという経過がございまして、X山を自分たちで何とかしていかなければという地元の協議会も併せての取組であったと思います。

(委員)

ほとんどの人がオッケーでも、何名かは強硬に反対される方がよくありますが、よく区としてまとめて応募いただいたということですかね。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

A地区の中でもこちらにはほとんど家がないですが、若干数軒あり、そちらの方々は区に入っていなかったりということもあって、なかなか話が通っていなかった部分もあり、協力的でなかった面もあったようですが、最終的には協力していただいたということです。

(委員)

この施設の前の施設は何年ぐらい稼働し、その後どうしてここへ移ることになったのでしょうか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

Wクリーンセンターは佐久市役所から数百メートルしか離れていないところにあり、昔は畑の中でしたが、今となってみれば住宅地の中にございました。こちらは昭和59年から令和2年まで稼働しておりました。

Vクリーンセンターの方は、昭和56年から平成31年までで、こちらは旧望月町の望月地区の山の中腹といったところにありました。

両方共、老朽化と言いますか、大体ごみ処理施設は20年から30年位を目安に建て替えていかなければならないという中での移転ということです。

(委員)

ここはまだ新しいですが、埋め立てて、埋め立てる場所がなくなるということはないとすると、今稼働してる設備は何年ぐらい持って、さらに更新してここでずっと処理施設として成り立っていくのか、それとも30年程度とするとまた移転しなくては行けないのかということについてはいかがですか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

今のところ30年位は稼働できるということで建設はしていますが、業者との長期契約の中は20年という形になっており、10年程経ったところで、今後どうしていくかということの検討を始めていくことになると思います。その段階で、場所を移るのか、この施設を有効活用するのも含めて検討することになりますので、まだ4年しか経っていないため、そこまでの検討はしていない状況です。

(委員)

移転前の市役所のそばにあった施設は、どのような計画で、これからどうされようとしているのでしょうか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

既に取り壊しとなり、更地となっていますが、すぐには活用できないため、近隣の総合体育館や公園などの駐車場のようになっています。

(委員)

それはその土地自体に多少有害物質などが埋まっていたり、含んでいる可能性があるということですか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

そういうことではありません。かなり深く掘ってあったところを埋め立てているため、地盤が馴染むまではかなり時間も要するということがあります。

(委員)

地盤としては、今までのように他のところと同じようには使えない。要するに土地の価値としては特別だということでしょうか。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

元々この土地自体が沢だったり、そこが元埋立用地でもあったり、また隣に牧場や総合体育館があり、しばらく歩くと武道館が新しくできたりもして、その周辺で駐車場の絶対数も少ないということで、駐車場という形になっているのだと思います。

(委員)

ありがとうございました。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

他によろしいでしょうか。

もしこの後、質問等がある場合は、事務局の方からメール等いただければ、こちらの方で回答したいと思いますので、よろしく願いいたします。

6. 閉会

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

ではこれで閉会となります。

中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会より挨拶をお願いします。

(副委員長)

本日は佐久市・北佐久郡環境施設組合の皆様におかれましては、視察に対応いただきまして誠にありがとうございました。見学ではクリーンな施設を見せていただき、質疑応答では、選定の経緯など、詳しく教えていただき、非常に参考になりました。

中津川・恵那の方でも公募、候補地の選定等進めて参りますので、その参考に持ち帰りしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

(佐久市・北佐久郡環境施設組合)

それでは、以上で中津川・恵那広域ごみ処理施設整備建設候補地検討委員会行政視察を閉じさせていただきます。ありがとうございました。